

ボランティアだより

ほのボラ

2017年3月発行

No. 42

発行 京丹波町社会福祉協議会

〒622-0311

京丹波町和田田中6番地1

TEL: 0771-86-1444

FAX: 0771-88-0037

URL: <http://www.kyoshakyo.or.jp/kyotanba/>

社協キャラクター



ここたん
cocoTan

平成28年度 傾聴講座

3月6日(月) 和知ふれあいセンター



講師に兵庫県対人援助研究所主宰の稲松真人^{いなまつまこと}さんを迎え、傾聴講座を開催しました。今回はコミュニケーションに重きを置き、『「傾聴という支援」～素敵な対人関係を考えてみる～』というテーマで講座を行いました。傾聴とは相手の心に寄り添い、耳と心を傾けて「聴く」ことです。しっかりと丁寧に聴くことと同時に、対「人」としての関係を構築するためにコミュニケーションが重要になります。「聴く」だけでなく、どのように接していけばよいのか、簡単なようで難しい傾聴の心構えを、実体験をもとに笑いも交えお話ししていただき、今後の活動に活かせるよう学ぶ機会となりました。



兵庫県対人援助研究所主宰
稲松 真人 氏



☆☆☆☆☆☆参加者の声☆☆☆☆☆☆

- ・傾聴の役目は「話を聴いてあげる事。それで充分。」その言葉を聞き、気持ちがあぐれました。
- ・専門的なこともわかりやすく話してくださり、楽しく良い時間でした。
- ・今まで以上に相手のことをわかろうとすることが大切だとつくづく思いました。

平成29年度ボランティア登録・ボランティア保険更新のご案内

平成29年度ボランティアバンク登録・ボランティア保険の新規受付及び、更新の時期となりました。3月末までに登録手続きをお願いいたします。サークル員の方は、代表者に登録カードの配布をお願いしておりますので提出をお願いいたします。個人活動の方は、直接社協各支所までお越しください。

ボランティア保険とはボランティア活動中のケガの補償や、他者への損害補償も含めた保険です。1年間安心して活動をしていただくために加入をお勧めいたします。社協各支所で加入の手続きをしておりますので、詳しくは社協地域福祉課までお問い合わせください。

ボランティア



ボランティアインタビュー①9

朗読ボランティア
あかり (瑞穂)

視覚障がいのある方などに町広報誌やボランティア情報紙などを朗読し、声のお便りを届ける活動をしています。
活動日…毎月1回



なかにし ようこ
中西 陽子さん

活動の様子



Q1 ボランティアを始めたきっかけは何ですか？

「自分自身がお話を聴くことが好きでした。同じ地区の方と【あかり】の話になり、活動に参加することになりました。」

Q2 ボランティアをされていて良かった事は何か？

「毎回、録音の度にリスナーの皆さまに伝わるのかと思いながら活動しています。メンバーの方から教わることも多く、緊張の中にも楽しさいっぱいです。」

Q3 あなたにとってボランティアとは？

「『他人事』ではない『私事』ですね。」



ふじい いっこ
藤井 五都子さん

ボランティアインタビュー②0

ななはちかい
七八会 (和知)

平成13年より、共同作業所「ともども」のネギ掃除のお手伝いを開始。年1回交流会実施。



Q1 ボランティアを始めたきっかけは何ですか？

「平成7、8年と旧和知町婦人会の理事を勤めました。その会員で何か地域で役立つ事をしよう！との思いで始めました。」

Q2 ボランティアをされていて良かった事は何か？

「障害のある人と一緒に作業する中でお互いに心安く話をしたり、作業所以外で出会っても声かけをしてもらったり、やりがいを感じています。年に一度の交流会も障害があるなし関係なく楽しいひと時を過ごせて、本当に良かったと思っています。」

Q3 あなたにとってボランティアとは？

「地域で身近な作業所で絆を深められ、心安く参加できて生きがいに感じます。」

冬場の健康相談




1月から3月にかけて、町保健師による冬場の健康相談が行われています。

今年度も、多くのサロンでプログラムとして取り入れられ、血圧測定や健康相談、

6つのテーマの中から好きな内容を選べる健康講話の内容で実施されました。健康手帳を持って来られ、血圧の状態をチェックされたり、講話の内容について質問などされ、健康に関する意識の高さを感じました。他にも手遊びや、簡単なクイズもあり、笑い声も響き、和気あいあいとした雰囲気での時間となっていました。

～健康講話のテーマ～

- ① 目指せ脳の若返り！認知症予防
- ② ロコモ予防（運動器症候群）
- ③ もれない！もらさない！尿もれ予防
- ④ しっかり食べて元気になるお話
- ⑤ 元気歯つらつ！お口の健康
- ⑥ 心地よく眠るための秘訣


行仏サロン（瑞穂）



中村サロン（丹波）

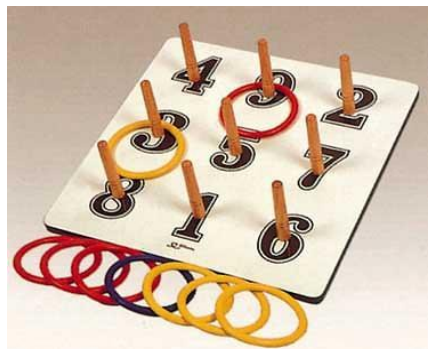


広野サロン（和知）

竹野小学校児童会「芽生会」車いす募金の取組み

竹野小学校児童会「芽生会」では、平成13年から自分達にできることの一つとして、お年玉の一部を募金する取組みを続けられています。例年、年始より校内に募金箱を設置し、自発的に児童に呼びかけられ、一人ひとりの気持ちが込められた募金を社協まで届けてくださいます。今年度は募金を活用し、サロンや地域の催しで使っていただけるよう「公式ワナゲ」を購入しました。

児童の皆さま、本当にありがとうございます。大切に活用させていただきます。



1月27日（金）健康管理センターにて

手芸ボランティアモチーフ

和知小学校の卒業生に毎年、手作りのコサージュ（今年はピンクと黄色の2色）を製作し、プレゼントされています。



製作されたコサージュ

活動紹介 毛糸で編んだ10cm角の「モチーフ」を社協が募集したのがきっかけとなり手芸好きが集まり、平成6年「モチーフ」を結成。住民の方から提供して頂いた毛糸を使って手袋・クッション・帽子等の作品を会員がアイデアを出し合い、製作しています。公共施設に寄付したり、バザーに出品もしています。手芸の勉強をしながら楽しく活動しています。

なごみ会 交流会(和知)



3月7日(火)、毎年恒例の「なごみ会」が開催されました。今年は滋賀県の「長浜盆梅展」を鑑賞しました。幹や枝から伝わってくる生命力はもちろん、梅の香りが広がる会場に参加者の皆さんは「パワーをもらった」と話されていました。昼食会では初対面の方もおられ、自己紹介も交えて、交流を深めておられました。



新春の風物詩。
今年で66回目。

なごみ会…視覚和知会、ガイドヘルパー「みちづれ」、朗読ボランティア「こだま会」の3つのグループによって構成され、年1回の交流会を開催しています。

北部合同サロン

3月1日(水)、西河内集落センターで初めての北部合同サロンが開催されました。仏主・下粟野・西河内の3地区の参加者、スタッフ合わせて40名の参加でした。「元気やったか?」といった久しぶりの再会を喜ぶ声があちこちから聞こえていました。イスに座っての運動が初めての方は「なかなか思うように動きませんが、大勢ですると楽しいですね」と話されていました。



「大勢の方に来て頂けて嬉しい。今後は上粟野・細谷も含めた5集落で、場所も順に開催していきたいですね。『この地域に住んで良かった』と思える取り組みにしたいです。」



北部振興会会長 藤田正之さん



参加者全員で合唱しました♪

お問い合わせ
連絡先

京丹波町社会福祉協議会 地域福祉課
丹波支所 ☎82-0126 (榎川・岡本) 和知支所 ☎84-1833 (湊)